

## 令和2年度 事業報告書

## 特定非営利活動法人かものはしプロジェクト

## 1 事業の成果

## 【インド事業】

Taftesh（タフティッシュ）事業では、コロナ禍のロックダウンに伴ったサバイバー（人身売買被害者）たちへの緊急支援、及び昨年度に引き続き、裁判支援、サバイバーの生活再建、刑事司法制度や福祉制度の強化に取り組みました。Leadership Next（サバイバーのリーダーシップ、2020年度より名称変更）事業では、サバイバーリーダーたちがそれぞれのリーダーシップを発揮しながら、他の被害者支援、地元行政・警察・メディアへの働きかけ等の活動を行いました。また、反人身売買セクターの横断的な全容調査の委託実施とインド16州59団体の118人を対象にリーダーシップ傾向調査を行いました。

## 【日本事業】

CI（コレクティブ・インパクト）事業では、NPO法人ETIC.とのパートナーシップのもと、地域の連携・協働を促進する媒介となると期待される6団体への支援を行いました。VOICE事業では、児童養護施設で暮らす子どもたちの声を聞き、施設運営者、そして政策形成の場に届けるといった活動を行いました。また、かものはしのメンバーが子どもの声の代弁者（アドボケイト）になるための学習を行いました。加えて、2021年1月の2回目の緊急事態宣言を受け、一般社団法人Masterpieceと共同で、社会的養護を巣立った若者への緊急支援を実施しました。

## 【広報・ファンドレイジング】

2021年3月末現在で14,889名の方に会員として応援いただいています。2020年度の収益は4億1千8百万円、支出は3億2千9百万円となりました。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【308,642】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1) 世界の児童買春、児童労働、人身売買の被害にあうリスクの高い子どもや若者を保護する事業	【Taftesh】 複数のパートナー団体と共に被害にあった女性たちが権利・正義を取り戻せるよう、インドの中央政府や各州政府、各地区に働きかけ、捜査・裁判や被害者を支援する仕組みを変えていくことを目指し取り組む。また、活動を推進していくために必要なワークショップ等も行っていく。	通年	インド（マハラシュトラ州、西ベンガル州、アンドラプラデシュ州）	2名	人身売買サバイバー	のべ約191人	115,869千円
(2) 保護した子どもや若者達の経済的自立をサポートする職業訓練事業							
(5) 国際機関、政府及び地方自治体の国際協力に対する政策等に対する提言する事業	【Leadership Next】 人身売買の被害を生き抜いてきたサバイバーたちが、社会を変えるリーダーへと成長することを支援する事業。5つのサバイバーグループが、地元行政・掲載・メディア等への働きかけや被害者支援の活動を行っている。また、インド全土の反人身売買リーダー連盟を通じて、サバイバーのリーダーシップを支援する。	通年	インド（マハラシュトラ州、西ベンガル州、アンドラプラデシュ州）	2名	人身売買サバイバー	3,783名	
(6) 目的を同じくする他団体等と							

<p>の情報交換や他団体と連携した協働事業</p>			し、インド全域)				
<p>(7)生活向上をめざす人々を作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創出事業</p>	<p>【その他】 反人身売買セクターの横断的な全容調査の委託実施とリーダーシップ傾向調査</p>	<p>通年</p>	<p>インド (マハラシュトラ州、西ベンガル州、アンドラプラデシュ州)</p>	<p>2名</p>	<p>※現地 NGO の調査のため、受益者無し</p>	<p>0名</p>	
<p>(8)世界各国の児童買春・人身売買問題に関わる調査事業</p>	<p>【新型コロナの影響を受けた人身売買サバイバーへの支援】 新型コロナの感染拡大により影響を受けた、マハラシュトラ州のサバイバーへの、日用品・給付金の緊急支援、及びカウンセラーによるカウンセリングの実施。</p>	<p>2020年5月-6月</p>	<p>インド (マハラシュトラ州)</p>	<p>2名</p>	<p>人身売買サバイバー</p>	<p>延べ221名</p>	
	<p>【CI事業】 民間の非営利法人、地域社会で行政等セクターや専門性を越えた協働により、子どもやその家族を取り巻く不条理の連鎖を癒し、皆が共に生きる地域エコシステムを形成</p>	<p>通年</p>	<p>日本</p>	<p>5名</p>	<p>※活動準備段階のため、受益者無し</p>	<p>0名</p>	<p>20,664千円</p>
	<p>【VOICE事業】 社会的養護の当事者の声を現場の支援に反映させる取り組み</p>	<p>通年</p>	<p>日本</p>	<p>5名</p>	<p>※活動準備段階のため、受益者無し</p>	<p>0名</p>	
	<p>【その他】 コロナ禍において生活が厳しくなった社会的養護で育った若者たちに対する緊急支援</p>	<p>2021年1月</p>	<p>日本</p>	<p>5名</p>	<p>社会的養護で育った若者たち</p>	<p>109名</p>	
<p>(4)日本の人々が開発協力における望ましい姿勢について考えるための、ホームページ、メールマガジン、会報、出版、セミナー等による普及啓発事業</p>	<p>活動報告会やイベント、Web上での情報発信、メールマガジン発行、年次報告書発行、講演会などを通じた普及啓発活動。</p>	<p>通年</p>	<p>日本</p>	<p>7名</p>	<p>子どもが売られる問題の解決に関心のある人々たち</p>	<p>23,069名</p>	<p>128,258千円</p>

## 令和2年度 活動計算書(その他事業がない場合)

特定非営利活動法人かものはしプロジェクト

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
<b>[A]</b>	<b>経常収益</b>		
1	受取金費 受取会費	310,637,000	310,637,000
2	受取寄附金 受取寄附金	68,006,023	68,006,023
3	受取助成金等 受取助成金	38,650,394	38,650,394
4	事業収益 普及啓発事業収益	317,560	317,560
5	その他の収益 受取利息 雑収益	6,505 1,230,096	1,236,601
	<b>経常収益計</b>		<b>418,847,578</b>
<b>[B]</b>	<b>経常費用</b>		
1	事業費		
	(1) 人件費 給料手当 法定福利費 通勤費 福利厚生費	38,643,773 5,053,393 74,458 27,038	43,798,662
	(2) その他経費 業務委託費 支払助成金 研修費 広告宣伝費 会議費 諸会費 旅費交通費 通信運搬費 消耗品費 印刷製本費 新聞図書費 支払手数料	61,813,064 63,740,390 424,903 79,150,092 145,428 10,000 226,836 226,612 28,274 4,980 20,688 15,203,286	220,994,553
	<b>事業費計</b>		<b>264,793,215</b>
2	管理費		
	(1) 人件費 給料手当 法定福利費 通勤費 福利厚生費	27,660,441 4,562,515 38,176 43,899	32,305,031
	(2) その他経費 業務委託費 研修費 広告宣伝費 会議費 諸会費 旅費交通費 通信運搬費 消耗品費 印刷製本費 水道光熱費 保険料 地代家賃 支払手数料 リース料 支払報酬 租税公課 為替差損 支払利息 雑費	8,830,476 3,849,596 1,545,256 1,936 226,000 18,915 2,303,631 224,904 588,598 299,848 128,600 3,650,680 1,241,102 427,680 7,585,050 92,300 550,519 197,943 473,500	32,236,534
	<b>管理費計</b>		<b>64,541,565</b>
	<b>経常費用計</b>		<b>329,334,780</b>
	当期経常増減額【A】-【B】・・・①		89,512,798
<b>[C]</b>	<b>経常外収益</b>		0
	<b>経常外収益計</b>		0
<b>[D]</b>	<b>経常外費用</b>		0
	<b>経常外費用計</b>		0
	当期経常外増減額【C】-【D】・・・②		0
	税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		89,512,798
	前期繰越正味財産額・・・④		106,430,947
	次期繰越正味財産額③+④		195,943,745

## 令和2年度 貸借対照表

特定非営利活動法人かものはしプロジェクト

科	目	金額	小計・合計
<b>【A】</b>	<b>資産の部</b>		
1	流動資産		218,468,343
	現金預金	186,978,714	
	未収金	31,133,889	
	前払費用	355,740	
	流動資産合計・・・①		218,468,343
2	固定資産		14,291,737
	(1) 投資その他の資産		14,291,737
	長期未収金	13,199,737	
	差入保証金	1,092,000	
	固定資産合計・・・②		14,291,737
<b>【A】</b>	<b>資産合計 ①+②</b>		232,760,080
<b>【B-1】</b>	<b>負債の部</b>		
1	流動負債		24,801,335
	未払金	16,652,978	
	未払法人税	70,000	
	前受金	88,000	
	1年以内返済長期借入金	5,340,000	
	預り金	2,650,357	
	流動負債合計・・・③		24,801,335
2	固定負債		12,015,000
	長期借入金	12,015,000	
	固定負債合計・・・④		12,015,000
	負債合計 ③+④		36,816,335
<b>【B-2】</b>	<b>正味財産の部</b>		
	前期繰越正味財産額	106,430,947	
	当期正味財産増減額	89,512,798	
	正味財産合計		195,943,745
<b>【B】</b>	<b>負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】</b>		232,760,080

## 令和2年度 財務諸表の注記

事業報告用

## 特定非営利活動法人かものはしプロジェクト

## 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

## (1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

## 2. 用途等が制約された寄附金等の内訳

用途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。  
当法人の期末時点で用途が制約されていない正味財産は195,943,745円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
インド事業	0	38,650,394	38,650,394	0	実際の助成金入金額と当期増加額の差額は、未収金として貸借対照表に計上しています。
合計	0	38,650,394	38,650,394	0	

## 3. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金 (1年以内返済予定を含む)	0	20,000,000	2,645,000	17,355,000

## 4. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(貸借対照表) 長期未収金	13,199,737	0	13,199,737

## 5. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

## ・ 事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給料手当、賞与および法定福利費については従事割合に基づき按分しています。

## ・ 給料手当には使用人兼務役員分も含まれていますが、支給対象者数が少ないため個人情報保護の観点から金額の明示を省略しています。

## ・ 2019年10月にOak財団と3年間のTafteesh事業の実施に関する契約を締結しました。

2021年4月から2022年11月までに、Oak財団とかものはしプロジェクトが以下を拠出する予定です。

	2年次残高 (2021年4月～2021年11月)		3年次 (2021年12月～2022年11月)	
	USD	円	USD	円
Oak財団	72,657	8,043,856	190,753	21,118,264
かものはしプロジェクト	211,826	23,451,256	385,210	42,646,599

※日本円は読者の便宜のために提供するものであり、2021年3月31日の為替相場(1US\$ = 110.71円、単位未満切捨て表示)で換算しています。

## 令和2年度 財産目録

特定非営利活動法人かものはしプロジェクト

科	目	金額	小計	合計
<b>【A】</b>	<b>資産の部</b>			
1	流動資産			
	現金預金		325,047	
	現金	247,550		
	外貨現金ドル	77,497		
	普通預金		186,653,667	
	普通預金 東京三菱UFJ銀行渋谷中央支店	161,305,145		
	外貨預金 東京三菱UFJ銀行渋谷中央支店	5,148,176		
	ゆうちょ銀行 019店	14,371,707		
	三井住友銀行 渋谷支店	4,782,402		
	みずほ銀行 渋谷中央支店	1,046,237		
	未収金		31,133,889	
	前払費用		355,740	
	<b>流動資産合計・・・①</b>			<b>218,468,343</b>
2	固定資産			
	(1) 投資その他の資産			
	長期未収金		13,199,737	
	差入保証金		1,092,000	
	<b>固定資産合計・・・②</b>			<b>14,291,737</b>
<b>【A】</b>	<b>資産合計 ①+②</b>			<b>232,760,080</b>
<b>【B-1】</b>	<b>負債の部</b>			
1	流動負債			
	未払金		16,652,978	
	未払法人税		70,000	
	前受金		88,000	
	1年以内返済長期借入金 日本政策金融公庫	5,340,000	5,340,000	
	預り金		2,650,357	
	<b>流動負債合計・・・③</b>			<b>24,801,335</b>
2	固定負債			
	長期借入金 日本政策金融公庫	12,015,000	12,015,000	
	<b>固定負債合計・・・④</b>			<b>12,015,000</b>
<b>【B-1】</b>	<b>負債合計 ③+④</b>			<b>36,816,335</b>
<b>【B-2】</b>	<b>正味財産合計 【A】 - 【B-1】</b>			<b>195,943,745</b>

## 令和2年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

## 特定非営利活動法人かものはしプロジェクト

## 1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

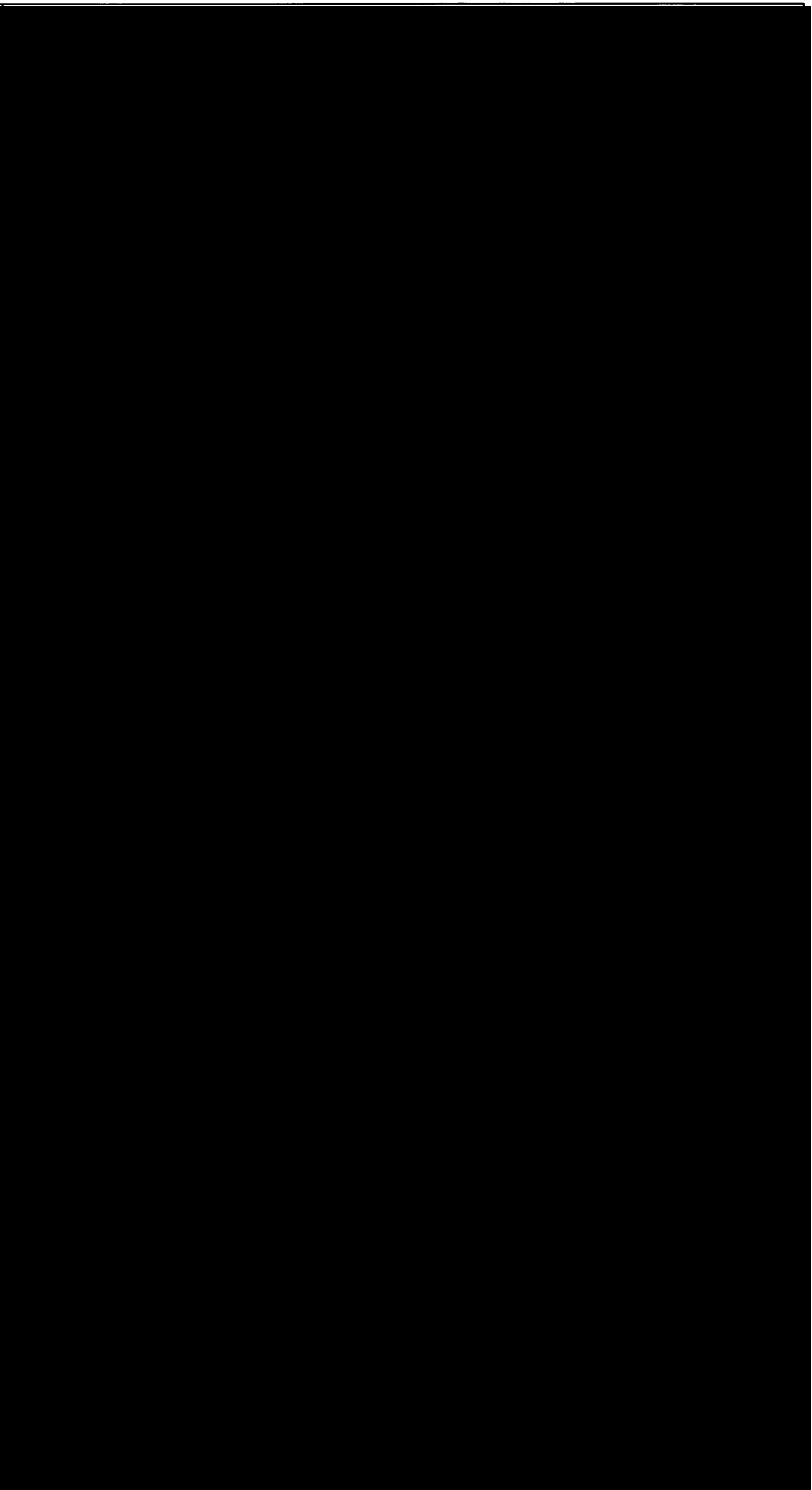
以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

## 2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○(理事) 監事	モトキ ケイスケ		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
		本木 恵介			
2	○(理事) 監事	サイトウ サヤカ		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		齋藤 早耶香			
3	○(理事) 監事	アオキ ケンタ		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		青木 健太			
4	○(理事) 監事	イトウ ケン		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		伊藤 健			
5	○(理事) 監事	シノダ マキコ		令和2年6月30日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		篠田 真貴子			
6	○(理事) 監事	ヨコヤマ トシコ		令和2年6月30日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		横山 十祉子			
7	理事 ○(監事)	ヒグチ テツロウ		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		樋口 哲朗			
8	理事 ○(監事)	ヤマモト リョウタロウ		令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		山本 龍太朗			
9	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
10	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人かものはしプロジェクト

	氏名	
1	齋藤 早耶香	
2	青木 健太	
3	本木 恵介	
4	金子 功	
5	河合 哲志	
6	小城 武彦	
7	山崎 幸平	
8	高橋 義孝	
9	山口 元毅	
10	堀尾 健太	
11	藤井 武治	
12	井上 英之	